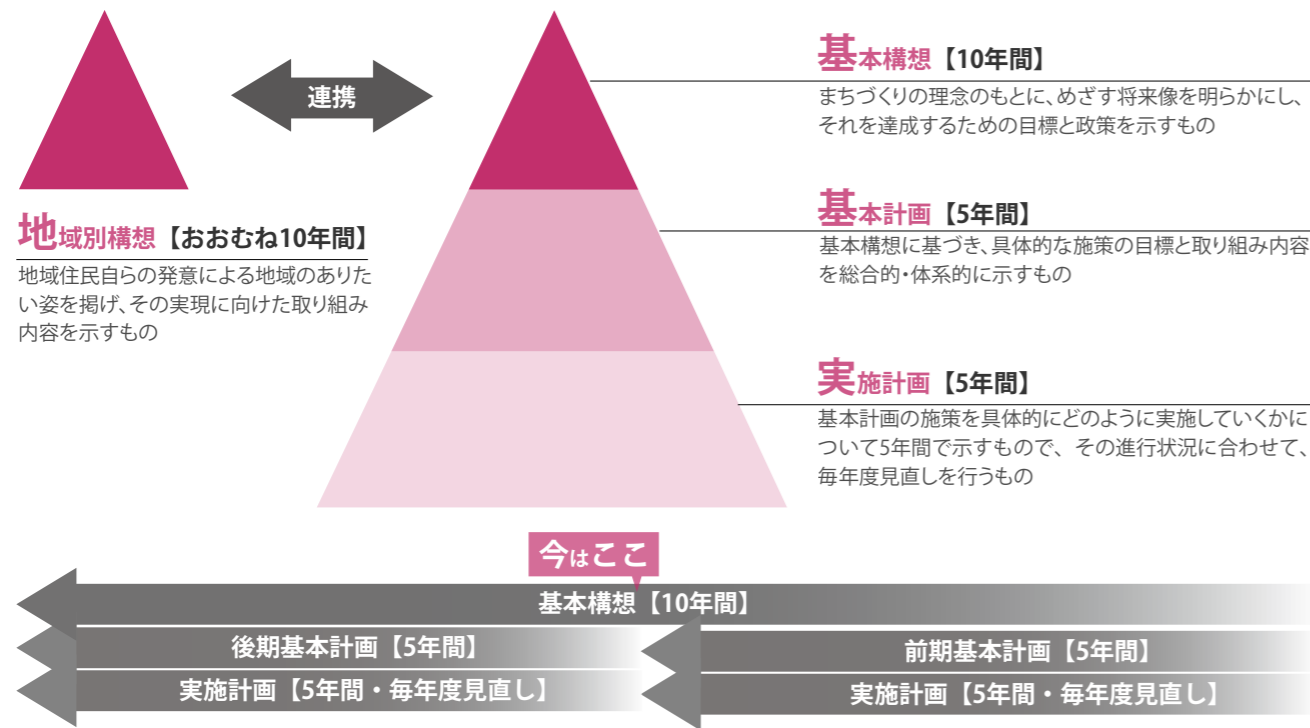


【第5次総合計画のイメージ】

めざす都市像：であいふれあい ささえあい 輝きつなぐまち



基本構想【10年間】

まちづくりの理念のもとに、めざす将来像を明らかにし、それを達成するための目標と政策を示すもの

基本計画【5年間】

基本構想に基づき、具体的な施策の目標と取り組み内容を総合的・体系的に示すもの

実施計画【5年間】

基本計画の施策を具体的にどのように実施していくかについて5年間で示すもので、その進捗状況に合わせて、毎年度見直しを行うもの

地域別構想【おおむね10年間】

地域住民自らの発意による地域のありたい姿を掲げ、その実現に向けた取り組み内容を示すもの

や市民生活と行政経営の視点などを定めています。「基本構想」で掲げた考えを実現するために、どんな施策を行うか定めているのが「基本計画」。「実施計画」は「基本計画」の施策を具体的にどのように実施していくのかを示すもので、進捗状況に合わせて毎年度見直しを行います。また、地域住民自らの発意による地域のありたい姿を掲げた「地域別構想」を策定し、総合計画に位置付けました。

30年度から後期基本計画がスタート

30年度からは、34年度までの5年間を期間とした後期基本計画が始まります。前期基本計画の成果を踏まえ、社会情勢の変化を見据えた内容となっており、市の魅力創出につながる計画として策定しました。

後期基本計画を策定するに当たり、市民ワークショップを実施。その後、公募で選ばれた市民や市民団体、有識者が参加する総合計画審議会と市議会議員との懇話会での意



市の全ての計画の基本となり、まちづくりの方向性を示す「総合計画」。30年度からは、5年間で取り組む政策・施策とその内容を示した、「後期基本計画」が始まります。ここでは総合計画と後期基本計画の中身について説明します。詳しくは政策調整課 ☎(740)1120へ。

後期基本計画始動

第5次総合計画

まちづくりの指針 第5次総合計画

将来における市のあるべき姿と、進むべき方向性について定めた「総合計画」。市では、25年度から34年度までの、10年間のまちづくりの指針となる「第5次総合計画」を策定しています。

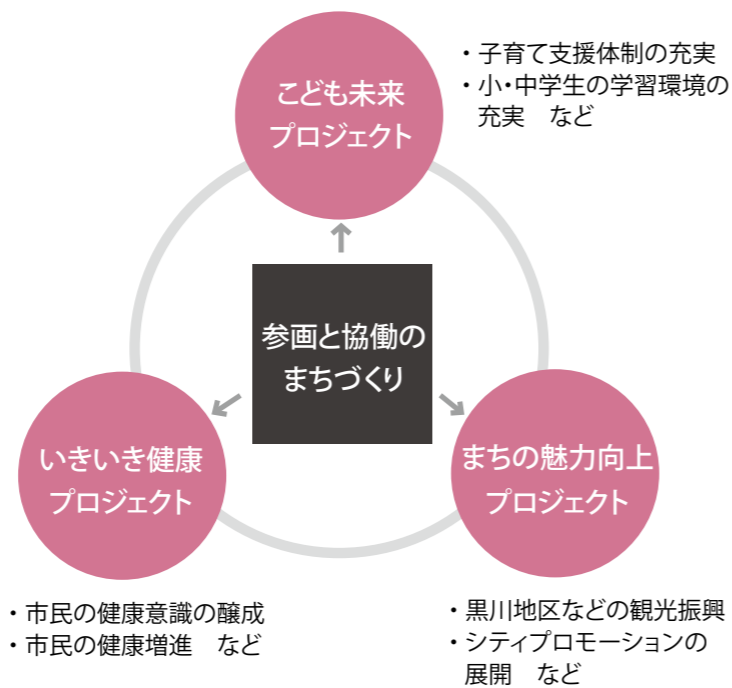
同計画の役割は、大きく3つあります。

1つ目が、市民やコミュニティ組織、事業者などと共有し、参画と協働のまちづくりを進めるための方針となる役割。2つ目が、行財政運営の進め方を示す役割。3つ目が、国や県などの行政機関との相互調整や個別計画の基本となる役割です。

「基本構想」と、これに基づく「基本計画」「実施計画」の3層構造に、「地域別構想」を加えて構成される同計画(9ページ上図参照)。

「基本構想」とは、10年先のまちを見据えて「川西をこんなまちにしたい」という考えをまとめたもの。めざす都市像の「であいふれあい ささえあい 輝きつなぐまち」

【後期重点プロジェクト推進のイメージ】



見を踏まえて、策定を進めました。

重点プロジェクトを積極的に展開

後期基本計画では、市民力や地域力が発揮できる環境を整え、市民などの公益的な活動をさらに推進し、それを礎として参画と協働のまちづくりをめざしています。そこで、重点的に取り組む

具体的なまちづくりの項目を「後期重点プロジェクト」と位置付け、「子ども未来プロジェクト」「いきいき健康プロジェクト」「まちの魅力向上プロジェクト」を展開していきます(右図参照)。

3つのプロジェクトを中心に施策を積極的に推進することで、市民の皆さんや地域が元気に生き生きと活躍できるまちづくりの実現をめざします。



市内各所で桜の花が咲き、目を楽しませてくれる季節となりました。

4月8日に開催する「源氏まつり」のメインイベント、懐古行列。桜並木の下で、源氏ゆかりの武者や三御前などが勇壮な姿を披露します。

また、お花見やイベントを楽しんでもらおうと、今年も黒川周辺の桜の名所を集めた「春里マップ」を作成しました。同地区には、

川西市長の **あんばい話**

川西の豊かな自然を 次の世代に引き継ぐ

市の天然記念物に指定されているエドヒガン群落があります。皆さんも、ぜひ里山の貴重な自然にふれてください。

エドヒガン群落の保全をはじめ、市内には自然と向き合い、さまざまな活動をしている団体があります。

今年2月、自然との共生などについて考える「生物多様性ふるさと川西シンポジウム」に出席しました。私たちに恩恵を与えてくれる川西の豊かな自然を守り育て、次世代に引き継ぐことの大切さを、活動団体の皆さんと共有しました。私もまずは、身近な自然のために、できることから始めてみたいと思います。

緑が芽吹く春。新生活を始める人が多くなる季節でもあります。

市では、第5次総合計画の後期基本計画が始まります。同計画の柱となる参画と協働のまちづくりを、皆さんと一緒に進めていきたいと思います。

大塩民生